

Chapter 1 章タイトル る？

基本コンセプト

- その言語の魅力、面白さを伝える
- 内容はガチでも、デザインは柔らか

XX-01 節タイトル - Enter The TypeScript or GoLang

リード文。読者に話しかける感じで、この節で説明することを知ると、何ができるようになるのかを伝えてください。あああああああああああああああああああ



●モジュールを利用する - h3中見出し

●datetimeクラスの利用 - h4小見出し

Chapter 4 でオリジナルの関数をまとめたモジュールを作りましたが、実は Python には、はじめから多数のモジュールが付属しています。これら 付属のモジュールを総称して「標準ライブラリ」と呼びます。

標準ライブラリのモジュールを利用することで、プログラムでできることの範囲をさらに広げることができます。標準ライブラリは `import` 文でインポートするだけですぐに利用できます。

CODE chap5-3-1.py

```
from datetime import date, timedelta
start = date( 2018, 6, 18 ) ----コメントの先頭を←にすると引き出し線に
for days in range(14): ----繰り返しの for 文
    cur = start + timedelta( days=days )
    print( cur )
```

実行結果

2018/6/18
2018/6/18
2018/6/18
2018/6/18

Syntax import文の書式

```
from datetime import date, timedelta
```

モジュール名または
パッケージ名

クラス名

複数のクラスをカンマ区切りで指定すると、まとめてインポートできます。



吹き出しを使って時々読者に語りかけ、ポイント、心構え、注意点など、強調したい物事を伝えてください。

●2週間分の日付の一覧を作る

開始日から2週間分の日付を表示するプログラムを書いてみましょう。「2週間分」のように複数のデータを作る場合、for文を使うことはすぐ思いつきます。ただし、dateオブジェクトだけで2週間分の日付を作ろうとするとうまくいきません。その月の最終日を越えた日付、たとえば33日などを渡すと、バリューエラーが発生してしまうからです。そこで、開始日のdateオブジェクトを作り、そこに経過日数のtimedeltaオブジェクトを加えて目的の日付を作ります。

標準ライブラリのモジュール（抜粋）

モジュール名	説明
csv	CSV ファイルの読み込みと書き込みを行う
datetime	日時を扱う
json	Web でよく用いられる JSON 形式のデータを扱う
math	三角関数など数値計算用の関数がまとめられている
pathlib	ファイルやフォルダの操作を行う
random	乱数（デタラメに見える数）を生成する
tkinter	GUI アプリケーションを作る
zipfile	ZIP 形式の圧縮ファイルを扱う



この章のまとめ



- 章の最後（節ではなく）にまとめを入れたいです。この章で説明したことを、あとから見返す役に立つ内容を想定しています。
- あああああああああああああああああ
- あああああああああああああああああ
- あああああああああああああああああ
- あああああああああああああああああ